

2006年春・夏にも楽しいイベントが続く。

栃木・矢板の魅惑

全日本大会

2006年3月26日(日) 栃木県矢板市



今回の全日本大会はなかなか主管が決まらず開催の危機にあった。そんな中、関東甲信越地区の都道府県が協力して開催する。先日、関東甲信越ブロック会議の際にも全日本大会に関する打ち合わせが行われ、全日本大会だけは何とか成功させようという熱意に包まれた。

最近、インカレが開催されるようになった矢板地区には学連が知的所有権を持つ地図がいくつか存在する。今回は学連がJOAに地図を提供する形での開催となる。

地図はジェネシスマッピング社とボランティアによる修正が行われ、通行可能度バツグンの矢板の森がGPS技術とマッピング技術で、素晴らしいテレインとして披露される。

また全日本大会前日には「ツーイベント」と称して、トレイル0とスプリント0が開催される。いずれも全日本大会コースと干渉しないように設定される予定となっている。

春の矢板で素晴らしいコース、素晴らしい地図、素晴らしいテレインがあなたを迎えてくれるはずだ。

この号が発行される時期にはすでに事前申込みは終わっているはずだが、当日参加でも十分に参加する価値があるイベントだ。

迷宮の白石島へ

第25回笠岡市民大会

2006年4月23日(日) 岡山県白石島

2005年12月に全日本リレー大会が開催された白石島だが実は毎年笠岡市民大会が開催されている。今年の大会は全日本リレーで新調された地図を使用する。この地図の調査者でもあるジェネシス社の山川氏がコースプランを担当する。12月の全日本リレー大会では、リレー競技用にコース難易度を抑えてあった。今度はその地図の全てを使いきって参加者に挑戦するという。夏はヤブに包まれる白石島のテレインも4月までは通行可能度が良く、地図も冬基準で作成されている。どのようなナビゲーションが待っているのか楽しみだ。

通常のレース終了後にもお楽しみレースとして、島内お遍路0の限定ミニ版が行われる。こちらは50分スコア。さらに今回初登場の「島内お遍路阿波23箇所コース」という20分のミニレースも提供される。

春の瀬戸内海は晴れば最高に気持ちがいい。全日本リレーの日が寒波だっただけに、ぜひもう一度訪れてもらいたい。



中国地方3県0ツアー

5月3日 春の松江OL大会

(松江市古江町)

5月4日 スコラ高原0大会

(広島県神石郡神石高原町)

5月5日 吉備路20周年大会

(岡山市操山)

毎年開催される松江OL大会に各種の大会日程をうまくミックスしており、遠来の参加者に優しい日程になっている。

ツアーは松江城と宍道湖が美しい山

陰・松江から始まる。中国山地のスコラ高原は新緑のシーズン。2004年秋には西日本大会も開催された。すぐ横には帝釈峡があり石灰岩がつくる見事な深谷が広がる。ラストは春の吉備路。テレイン「操山」は岡山駅からのアクセスはバツグン。午後の新幹線にもラクラク接続だ。

駒ヶ根高原が待っている

9月17日 インカレロング駒ヶ根

9月18日 クラブカップ7人リレー



今年はインカレロングがクラブカップとコラボする。いずれもテレインは駒ヶ根高原を使用する。このテレインは2004年にもクラブカップ開催のために一部リメイクされた。今回はインカレロング用にさらに調査し、旧来のロング用範囲までGPSを使った調査の手が入る。

2005年のインカレロングは単独で開催されたが、もともとは他のイベントと併設することがコンセプトとなっている。インカレが駒ヶ根で開催されるのは実に20年ぶりとなる。

クラブカップは2004年にも駒ヶ根で開催された。わずか2年の空白だが、駒ヶ根の複雑でどこまでも走れるテレインは1度や2度のレース経験はあまり役に立たないはずだ。

当時優勝した多摩OLがまた勝利するのか、それとも現在のクラブカップを保持している「ときわ走林会」がカップを守るのか、いやそれとも・・・

2年前は悲惨なほどの雨天のレースだったが、今回は秋晴れに恵まれて欲しいものだ。学生たちの熱戦と併せて今年の夏最大のイベントとなりそうだ。

(木村佳司)